

柿の品質向上による経営の安定対策及び環境に配慮した農業の取組 ～三田村透氏（岐阜県大野町）～

経営体の概要

設立年度：平成25年
基幹作物：柿
経営面積：1.0ha

現在：令和6年
基幹作物：柿
経営面積：2.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

- 基幹的農業水利施設である頭首工の機能が低下。
- 幹線水路等は施設の老朽化により用水の安定的な供給に支障。



継ぎ目から地下水が流入している状況

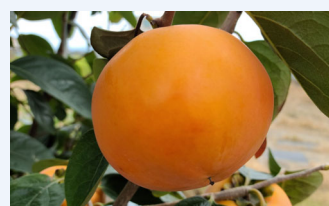
【現在】

- 国営かんがい排水事業「西濃用水第二期地区」（H21～H26）により基幹的農業水利施設の改修が行われ、安定的に農業用水を供給。
- 続いて「西濃用水第三期地区」（R6～R15）により第二期地区での未改修施設の老朽化対策と耐震化対策を行い、用水の安定供給と農業水利施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持と農業経営の安定を目指している。

営農改善、経営転換等のポイント

①単収・品質の向上

国営土地改良事業により農業用水が安定的に供給されたことにより夏季の高温・干ばつ時に柿畑に適切なかん水（1週間降雨がない場合にかん水）が可能となったことや、耐暑性品種「麗玉」の導入等により、障害果実発生が抑制され、品質が向上し安定生産につながっている。



耐暑性品種「麗玉」

②環境負荷低減への取組

ペレット鶏ふんを代替肥料として基肥に施用し、慣行肥料の使用量削減を試験している。また、IPM（総合的病害虫・雑草管理）に取り組み、病害虫の発生状況に応じた適切なタイミングの防除により農薬を慣行の30%削減し、ぎふ清流GAP評価制度に取り組んでいるほか、令和5年には、岐阜県環境負荷低減事業活動実施に関する計画の認定を受けるなど、環境に配慮した農業に取り組んでいる。



三田村透氏

③地域の農業振興

三田村氏が技術部長を務める大野町かき振興会では、大野町の柿のPRをかねて、婦人部では規格外の柿を使用し、柿しっとりチップなどの加工・販売に取り組んでいる。また、地元の小学校で出前授業を行い、柿栽培の一連の流れを体験してもらうなど、地域の食農教育にも力を入れている。



柿しっとりチップ

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：岐阜県大垣市外6町
受益面積：4,928ha
事業期間：令和6年度～令和15年度
事業目的：農業水利施設の改修及び耐震化
主要工事：頭首工改修2か所、用水路改修 L=15.3km
水管理施設改修一式

位置図



<問合せ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和6年度調査時点）